

群馬県立桐生高等学校 学校評価一覧表 (令和8年度版)

羅 針 盤			方 策
評価対象	評価項目	具体的数値項目	
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	○本校通信制課程に入学して良かった(学校生活に満足している)と思っている生徒が80%以上である。	○オリエンテーションや個別面談を通して、本校通信制課程の学びのスタイルを説明する。また、学校行事等の参加を促し、帰属意識を高める。
		○各段階ごとに自分で履修科目を選ぶ本校の教育課程が、自分の興味・関心を引き出す学びにつながり、満足していると思っている生徒が80%以上である。	○生徒が自分で選んだ科目について、興味・関心を持って授業に取り組み、自らの学びを深められるよう、授業改善に取り組む。
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	○「学習進行状況表」を年3回生徒に配布、説明し、学習指導に活用している。	○レポート・テスト・スクーリングの進捗状況がわかる個人別「学習進行状況表」を学期末を目安に配付し、それをもとにその後の学習の進め方を計画できるよう適切な指導を行う。
		○特別活動(LHR・学校行事・生徒会行事など)に満足していると思っている生徒が65%以上である。	○生徒の実態を踏まえ、主体的に学校行事へ参加できるように促し、本校への帰属意識を高める。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	○単位修得者の割合が、50%以上である。	○「学習進行状況表」等を活用して計画的に学習を進め、単位修得につながるよう、それぞれの生徒の実態に応じた丁寧な指導を心がける。
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	○職員会議やいじめ対策委員会などの会議を月1回以上行い、生徒情報の共有や学校運営の円滑化を図る。	○月1回の定例会議を基本とし、必要に応じて臨時の会議を設け、職員間で連携をとって指導に当たれる体制を整える。また、非常勤講師を含めた全職員が情報共有を行い、円滑な学校運営を目指す。
		○学校からの指導(講演会・桐高通信・スマホルール等)を通して、SNS等の危険性について理解が深まったと思う生徒は70%以上である。	○専門家による講演会を実施し、SNSでのトラブルや危険性の認識を高める。また、生徒会活動としてスマホ利用ルールを作り、どうすればトラブルを回避できるか対策を考えさせることで当事者意識を高める。
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	○質問や心配なことがあるときに先生に相談しやすく、先生は誠実に対応してくれると思う生徒が60%以上である。	○普段から生徒への声かけを行い、相談しやすい雰囲気をつくるように教職員へ働きかける。また、スクールカウンセラーを利用しやすい環境作りに努める。
		○学校で行ういじめ予防の取り組みやいじめに関する調査が適切に行われていると思う生徒が70%以上である。	○普段の生徒への声かけやいじめアンケートの実施を通して、いじめ防止に努め、早期発見に努める。
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	○あなたの学校での生活は安心で快適であり、体調不良になった時には適切に対応してくれると思う生徒が80%以上である。	○入学時に実施する健康アンケートを活用し、心身の問題を抱える生徒について非常勤講師を含め全職員間で共有する。養護教諭との連絡体制の徹底を図る。緊急時の対応について点検をする。
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	○進路についての情報が学校から適切に提供されていると思う生徒が60%以上である。	○月報や面談等で得た個々の生徒の情報を職員間で共有し、生徒の状況や進路希望をもとに組織的な情報発信に努める。
		○進路説明会や進路講演会等は、進路を考えるうえで適切なタイミングで適切な頻度で行われていると思う生徒が60%以上である。	○生徒へのアンケート調査等を行い、生徒のニーズに合った進路行事を企画する。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	○進路実現に向けて積極的に取り組んでいると感じている生徒が50%以上である。	○生徒の進路に対する考え等を理解するために、調査を行う。さらに、生徒の進路実現に向け、担任・副担任と進路指導部とで連携を図り、組織的に対応する。
		○月報「桐高通信」には、学習や学校生活に必要な情報は提供されていると思う生徒・保護者が80%以上である。	○生徒の月報の内容および見やすさについて常に工夫・改善を行い、年間を通じて計画的に発行する。
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	○桐高通信制のWebサイトで情報は適切に提供されていると思う生徒が80%以上である。	○Webサイトを適時且つ有効な情報発信の場と考え、月に1回以上の更新を行う。
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	○スクーリングの授業や交通安全指導、生活指導等の場面で、ICTを活用した指導を行っている教職員が60%以上いる。	○ICTの活用事例や具体的な活用の仕方を職員同士で情報共有し、授業を始めとする生徒への指導で積極的な活用を促す。
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	○教職員の80%以上が積極的にICTを活用し、業務改善を行っている。	○アンケートや学校行事の振り返りなどでGoogleフォームを活用し、業務改善を図る。また、生徒への連絡や地域への情報発信にメールやクラスルーム、Webページなどのデジタル媒体を活用することを推進する。